

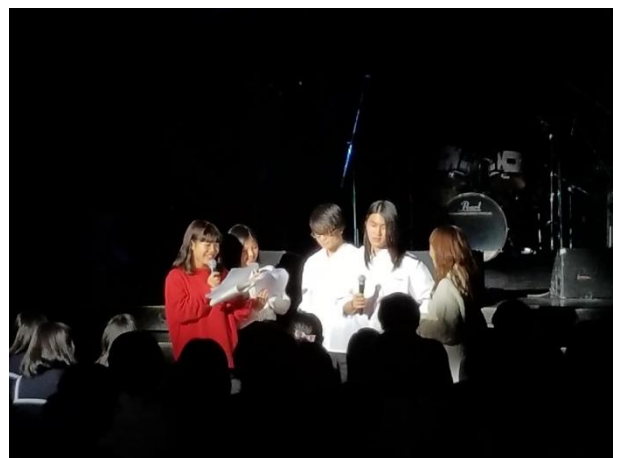
皆様こんにちは！！やっどこさ業務も落ち着き、レポートをアップする余裕ができました。間隔があいてしまい申し訳ありません…。

今回は11月上旬に行われた「High School Live in ESP」に出演したときのものと、12月16日に英真学園で行った「アコースティックライブ」の二本立てです。3年生が引退後、新体制に移行して間もないということで不安もありましたが、どうだったのでしょうか…。それでは当日の様子をどうぞ！

HSLには2年生バンドの↓「JINS!!」 と ↓「Big BooBs」の2バンドが出演しました！



新体制になったとはいえ、2年生のバンド自体は組み替えがなかったので、慣れたメンツということもあり、堂々とした演奏を見せてくれました。



そこそこ場数を踏んで成長してきた「JINS!!」さしたるミスもなく、しっかりと最後まで演奏できました。しかしやはりMCが弱い…。もっと盛り上げるトーク力を身につけることが課題です。



ウチでは一番外部ライブ出演回数の多い「Big BooBs」！さすがに演奏中の盛り上げ方が分かってきたのか、コール&レスポンスも効果的に使用し、会場を盛り上げます。お客さんもノリノリで、大声で応えて盛り上がってくれました。それでもやはり曲間MCがまだまだ…。同じくトーク力育成が課題です。

いやはやなんとか成功か…と胸をなでおろしていたのですが、なんとリハーサル前にGtのT内がギターを倒した拍子にネックにヒビが入っていたらしく、ESPのスタッフに応急処置をしてもらった演奏だったそうです。日頃から口酸っぱく「楽器管理には常に気を配って大切に扱いなさい」と伝えてはいるのですが、そのへんもまだまだのようです。しかし、ライブに出るたび何かやらかしてくれる英真軽音…。ESPの方々がこんなに素晴らしい舞台を用意してくれているのに申し訳ない思いでいっぱいです。自分たちがライブをできるのも、観客とスタッフの方々が支えてくれているという意識をもっと持たないといけません。それを心に刻まれた一日でした。

さて、お次は「アコースティックライブ」です。この日は写真を撮っていないので、文面だけになりますが、これは以前から実施したいと考えていたものです。なぜかと言うと、アコースティックライブでは、歌声・演奏ともにほぼダイレクトに観客に伝わるため、ごまかしがききません。大きな音でギャリギャリ演奏していると分かりにくいのですが、1弦1弦しっかりと音が出ているか、ボーカルがピッチを外さずに歌えているか、自分たちが把握するのにとても有効です。さらに演奏隊の構成がシンプルなため、曲の転調などのアレンジがしやすく、ボーカルのキーに合った演奏をすることができます。しかし、それもコードの理論を理解していないと自分たちが書き換えができないため、そのあたりの勉強にも繋がるのです。

初めてやってみた感想としては、全員が主旨を理解してやっていたとは言いがたいですが、しっかりと理解していたバンドもあり、それぞれが浮き彫りになった自分たちの課題を見つめることができたのではないかと考えています。今後もまたちょくちょく開催し、クラブ全体のレベルアップに繋げていけたら、と手ごたえを感じました。

新体制になり不安のほうはまだまだ大きいのですが、それはどの代でも同じことで、来年にはどのように成長してくれるのか楽しみです。皆様、今後ともよろしくお願い致します！！